

## 東方教会も西方教会も、一緒に祝う移動祝祭日

主のご復活おめでとうございます。

東方と西方の両教会で違う日であることが多いイースターですが、今年は、東方と西方ともに同日の4月20日です。

今年の1月、キリスト教一致祈禱週間にあたって教皇フランシスコは、東西の両教会で復活祭を共通の日付に祝うことについての提案をカトリック教会が受け入れる心構えであることを改めて確認しました。今後、イースターは新たな局面を迎えるかもしれません。「復活の輪」を広げることはこれからの世界にとって重要だと思います。



## 第1回シグニス動画フェスティバル

「シグニス動画フェスティバル」は、「聖書動画コンテスト」（主催：日本聖書協会）に代わって昨年新たに始まりました。第1回となる今回は計21作品が集まり、当初の予想を上回るにぎわいとなりました。その中から、以下の6作品が入賞作品に選ばれました。おめでとうございます！



- \*カトリック広報担当司教賞：ルイス・デ・アルメイダ研究会 乃木リリー「Luis de Almeida 500年目の巡礼」
- \*シグニス大賞：玉田小右「あの日の青島」
- \*日本聖書協会賞：辻 勇輝「映画予告風“福音”」
- \*OBSBOT 賞A：日本福音ルーテル箱崎教会 和田憲明「テゼ：録音会“新しい歌” - New songs from Taizé -」
- \*OBSBOT 賞B：日本ナザレン教団 ピースコミュニティチャーチ 旭川神居伝道所 定池広季「ライブストーリーミングの成長」
- \*キリスト教動画伝道ネットワーク賞：萬代恵嗣「聖書将棋（放蕩息子）」



カトリック広報担当司教賞



シグニス大賞



日本聖書協会賞



OBSBOT 賞A



OBSBOT 賞B



キリスト教動画伝道ネットワーク賞

特設サイトでは、各作品のページで選評を公開しておりますので、どうぞご覧ください。また、惜しくも受賞ならなかった作品につきましても、すべて特設サイト上で視聴することができます。共感する作品やお気に入りの作品をどうぞ見つけてください。

★全応募作品は下記の特設サイト、または右下 QR コードよりご覧いただけます。

<https://signisgoodnews.sakura.ne.jp/movie-festival/>



5月3日には、初めての授賞式を行います。合わせて、今回審査にあたった審査員によるトークイベントを開催いたします。今回の動画フェスティバルの振り返りと、これからのキリスト教動画の未来、動画がもたらすメッセージの強さと魅力などを縦横無尽に語っていただきます。今回フェスティバルに応募しなかった方も参加可能ですので、ふるってお申込みください。

## <イベント概要>

2025年5月3日(土・祝) 14:00~16:30(終了後、自由参加で懇親会)

会場: イエズス会岐部ホール

(東京都千代田区麴町 6-5 カトリック麴町(イグナチオ)教会隣接) / オンライン(Zoom)

審査員&スピーカー: 酒井俊弘(大阪高松教区補佐司教)、松本准平(映画監督)、  
岸本景子(映画監督)、片岡賢蔵(日本基督教団牧師)

申込先: <https://forms.gle/bvWKzKjid8sC5FU1A> または 右 QR コード



そして、今年も第2回シグニス映画フェスティバルを開催することが決定いたしました。カトリック教会では、2025年は「聖年」とされ、この年の恵みにあずかるための一つの実践として巡礼が勧められています。それにちなみ、第2回のテーマは「旅、巡礼、希望」として、授賞式翌日の2025年5月4日(日・祝)から募集を開始します。特に今回ご応募が少なかったカトリック関係の皆様にもぜひ動画表現の魅力を知っていただき、制作・応募が増えることを祈っております。詳細は上記授賞式&トークイベントや、特設サイトで追ってお知らせいたします。皆様からの作品のご応募、お待ちしております。(インターネットチーム)

特設サイト: <https://signisgoodnews.sakura.ne.jp/movie-festival/>

第1回シグニス映画フェスティバル受賞作品発表&授賞式のお知らせ:

[https://signisgoodnews.sakura.ne.jp/movie-festival/?page\\_id=360](https://signisgoodnews.sakura.ne.jp/movie-festival/?page_id=360)

## 第49回 日本カトリック映画賞『侍タイムスリッパ』

今年49回を迎える日本カトリック映画賞、いつも選考の時に考えるのは「何をして日本カトリック映画賞」というのかということ。教会が出てくるとか、マリア様がいるとかではない、もっと普遍的なカトリックの価値観がスクリーンを通して伝わってくる作品なのかどうか?

私たちシグニスジャパンは本当に小さな団体で、映画チームといっても、それぞれが家族の世話や生業の仕事をしながら時間を捻出して、自分の好きな、または推薦された作品を見るという形で活動しています。自由になる時間も出会える映画にも限りがあります。たくさんの映画をみられた年も、あまり見られなかった年もあります。でも不思議なことに毎年「これは!」という作品に出会うことになります。それを候補作として共有し、1月に担当司祭と一緒に選考上映会を行い、メンバー全員での分かち合いを経て、毎年日本カトリック映画賞を決めています。

今年の『侍タイムスリッパ』を映画館で観た時に感じた、胸が震えるような感情の高まり、ほっと満ち足りた優しい気持ち。見終わって外に出た時には、周りの景色まで明るくなったようで、なんだか希望までもらったような気持ちになりました。「素敵なお映画です。見てね」と周りに薦めながら、この気持ちをどういう言葉にして、カトリック映画賞候補とするか?と考えましたが、何ともまとまらないままに年を越して選考上映会を迎えました。でもそんな私たち、映画チームの気持ちを晴佐久神父が「授賞理由」として見事に言葉にしてくださいました。「人の価値、人の美しさ、人の中に備わっている真剣さ、私利私欲でないそんなもの。あの侍は本気で誰かのために生きている。もしかしたら私たちのなかにもそんな美しいものがあるんじゃないかって思わせてくれて、もう少し頑張っていこうかって勇気もらった。」

私たちの選んだそんな日本カトリック映画賞授賞作、どうぞ見に来てください。7月12日、一ツ橋ホールでお待ちしています。(映画チーム 大沼美智子)

第49回日本カトリック映画賞「侍タイムスリッパ」

授賞式・上映会&対談



## <授賞式&上映会>

日時: 2025年7月12日(土) 開場 13:30、授賞式および本編上映 14:00~、17:10 終了予定

場所: 日本教育会館一ツ橋ホール(東京都千代田区一ツ橋 2-6-2)

※映画上映後休憩をはさみ、安田淳一監督と晴佐久昌英神父の対談

<チケット販売について> ★詳細 SIGNIS Web サイト [https://signis-japan.org/2025/04/49th\\_jcfa\\_tickets/](https://signis-japan.org/2025/04/49th_jcfa_tickets/)

チケット: 1,500円 / 障がい者 1,000円(介助者1名も同額)

販売所: 聖イグナチオ教会案内所、サンパウロ書店(四ツ谷駅前)、高円寺教会 天使の森、ドン・ボスコ社、スペースセントポール、

※メールでの申込方法は、[SIGNISのWebサイト](https://signis-japan.org/)をご参照ください。



東京教区の巡礼指定教会である、調布教会、関町教会の様子を各教会所属のシグニスメンバーからお伝えします

### <カトリック調布教会>

私たちの教会は、青少年の使徒聖ドン・ボスコが創設したサレジオ会が司牧しています。来年2月8日にサレジオ会来日100周年を迎えます。昨年7月には東京教区の2025年聖年巡礼教会(特に青少年の)に選ばれました。第二駐車場も作り、9月にはプレ巡礼を実施し、今年に入ってから正式に巡礼を受け入れています。既に多くの教会から団体・個人でいらしていますし、自教会信徒のための巡礼も実施しています。調布教会ではイエス様の生涯の旅路に倣って、イエス様の霊性に触れ、各人が心を霊の働きに合わせて旅をして、各人が各場所で“わたし”に響いたもの(霊的会話)を、“あなた”と分かち合い、“わたし”と“あなた”との違う響きを味わい、その響きを共有することで、“わたしたち”の響きに変えていき、一つの“うねり”としての共同体になっていくこと(シノドスの実践)を趣旨として、この巡礼を「ミニ巡礼」と名付けました。(右図)



「ミニ巡礼」の基本スケジュールは次のとおりです。全免償のために、まことの回心の歩みに欠かせない出発点である、“ゆるしの秘跡”からミニ巡礼はスタートします。その後、聖骸布(ご受難とご復活) / チマッティ資料館 / 尊者チマッティ神父のお墓(多人数の時はいくつかのグループに分れて同時並行で3~2箇所を巡る) > 昼食 > 全免償オリエンテーション(全免償の準備として感謝・願い・約束) > 分かち合い > そして最後にごミサ(聖体拝領)です。教皇様の意向の為に祈りし、全免償の条件を満たします(詳細は <https://www.chofu-church.com/about-1> 「巡礼コース」)をご覧ください。A4三つ折り巡礼パンフ(感謝・願い・約束)、尊者チマッティ神父解説メモ等は(団体の場合はその日の典礼等も)日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語で準備しています。「希望の巡礼者」のキーチェーン、Tシャツ、小物類も作りました。

プレ巡礼から数えると(調布教会信徒を含め)ミニ巡礼・聖年巡礼は計11回760人弱、プラス個人巡礼があります。ミニ巡礼では特にさいたま教区や横浜教区の外国籍の信徒さんたちのご協力・活躍が光っています。また調布サレジオ神学院も全面的に協力してくださっています。復活祭以降では16回のミニ巡礼や聖年巡礼の団体予約 or 計画が入っています。個人&平日の受け入れにも対応しています。

調布教会では主任の山野内公司神父様を先頭に教会委員会、巡礼委員会そして各分野を担当しているチームが一丸になって動いています。これが「聖霊の風が吹いている」、「シノドス的」というのでしょうか。ぜひ皆様も「希望の巡礼者」として調布教会をご訪問ください。そして「聖霊の風」を感じ取り、一緒にこの聖年をシノダリティの真の跳躍につなげましょう。(町田雅昭 / 調布教会)



カトリック調布教会  
<https://www.chofu-church.com> /  
〒182-0033 東京都調布市富士見町3-21-12



## <カトリック関町教会>

聖年における東京教区の巡礼教会の一つになっている幼きイエスの聖テレジア関町教会に所属しています。2024年12月29日、カテドラルで聖年の開幕ミサがささげられたその翌日の30日に早くも三人のシスターが巡礼に来られ、以来、3ヶ月半この4ヶ月半ばですでに他教会からの巡礼来訪者は450名を超えています。受付時間外でも、また個人だけでなく、諸教会からの団体訪問もあり、教会スタッフは休日返上で対応。忙しいともいえますが、経験したことのない感動の一年を過ごしております。



関町教会外観



内陣

私たちは、来られた方々のためにスタンプはもちろん、ほかに三つの冊子を用意してお渡ししています(写真参照)。一つはもちろん保護の聖人・聖テレジアの生涯に関する資料ですが、聖フランシスコ・ザビエルに関する資料も用意しています。その理由は関町教会が約100年前の1929年、現在の練馬区関町東2丁目の地に日本全教区のための大神学院が聖フランシスコ・ザベリオ神学院として開校されて、そこの聖堂に集う信者たちの共同体から成長して生まれたものだからです。1957年、この共同体のために関町北2丁目の現在地に聖堂が与えられ、聖テレジアが保護

聖人とされて小教区がスタートしました。近年はこの初代聖堂の老朽化が目立ったことから新聖堂の建設計画が立てられ、2023年に晴れて第2代聖堂が完成、献堂されました。伝統的でもあり現代的でもある、新聖堂の建築理念や新しくされた十字架像、テレジアとザビエルのご像、祭壇・朗読台、十字架の道行図、その他の様々な信仰の遺産について解説資料も整え、巡礼の皆様の見学と祈念に役立てていただいています。



解説資料

来訪者には外国人の方も多いため、それらの英語版も作製しました。ちょうど今年2025年は聖テレジア列聖100周年の年。その列聖日にあたる5月17日(土)には、10時からその記念のミサがささげられます。可能な方の来訪と参加をお待ちしています。

(石井祥裕 / 関町教会)

カトリック関町教会 <https://www.sekimachi-ch.com/home/>  
〒177-0051 東京都練馬区関町北2-11-7

### 会員・サポーター募集

会員：一緒に活動して下さる方 個人会員 6,000円/年 団体会員 12,000円/年

サポーター：経済的に支援して下さる方 1,000円/口(何口でも)

ニュースレター「タリタ・クム!」をお届けします。ともに感謝ミサをいたします。

映画賞上映会、インターネットセミナーなど、ボランティアとして活動にご参加ください。

★教会、修道会広報関係の方も歓迎いたします。

<振込先>

銀行振込：三菱UFJ銀行 六本木支店 (店番 045) 普通 1679019 口座名：SIGNIS JAPAN 代表 土屋至

郵便振込：口座番号 00100-0-594547 口座名称 SIGNIS JAPAN 代表者 土屋至

\*他行から振込場合 銀行名 ゆうちょ銀行 店番 019 預金種目 当座 店名 O一九店(ゼロイチキュウ店)  
口座番号 0594547 口座名義 SIGNIS JAPAN 代表者 土屋至

お申し込み、お問い合わせ 聖パウロ女子修道会内 SIGNIS JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-42 / [info@signis-japan.org](mailto:info@signis-japan.org)